

# ハートパル

2021年  
3月  
226号

## 女性差別 - 無意識の思い込み

森喜朗氏の「わきまえておられる」発言で、テレビや新聞では「女性蔑視」や「女性差別」、「ジェンダー平等」などの言葉が毎日のように見られました。「それって森さんだけの問題？」と自分を振り返った人も多かったのではないのでしょうか。この発言は、ジェンダー平等が立ち遅れる日本の現実を浮かびあがらせ、日本の男女平等を考えるきっかけになりました。なぜ、いまだに性差別があるのか？ 一体それはどうして起こったのか？ この機会に一緒に考えていきましょう。

### 無意識の思い込みは、偏見や差別につながる



問題です。

ある大学病院に有能な外科医がいました。その外科医に手術してもらおうと全国から患者が集まってくるほどの知名度です。ある日、その外科医のもとに交通事故にあったという親子が運ばれてきました。親子を見て外科医はびっくり。なぜなら、交通事故にあったのは自分の子供とその父親だったからです。さて、この外科医と交通事故にあった子供、父親との関係は？

答えは、外科医は母親で、患者は子供と夫です。「有能な外科医」という言葉で、外科医は男性だと思いませんか？

私たちは、職業や立場だけで、「男性の役割、女性の役割」と決めつけてしまうことがあります。いまだ、「男は仕事、女は家庭」という性別で役割を決めつける考え方は根強く残っており、男性中心的社会構造からくる思考が、「わきまえておられる」という発言になったということが考えられます。根拠のない無意識の思い込みは、差別や偏見につながると理解することが大切です。

### 女性の社会進出の低さが女性差別を生む

2019年男女平等ランキングが  
**日本は121位** 年々ダウン…



世界経済フォーラムは、男女格差の解消が世界経済の発展につながるとして、「ジェンダーギャップ指数」を発表。調査内容は「政治」「経済」「教育」「健康」の4分野 14項目で、男女平等の度合いを指数化し、順位を出します。日本は153か国中121位。特に、政治(144位)と経済(115位)のスコアが著しく低いことが要因だと言われています。

### 男女間の賃金格差が大きい



日本の女性の賃金は、男性の74.3%(2019年)で、先進諸外国の80~90%と比較すると、その格差が大きいことがわかります。原因には、女性は結婚や出産で退職し、再就職時には仕事と家庭の両立がしやすいパートタイムなどの非正規雇用を選択することがあげられます。

### ジェンダー平等が実現した国は幸福度も高い！

ジェンダー平等が進んでいる北欧3か国との比較				
女性割合	ノルウェー	フィンランド	スウェーデン	日本
国会議員	44.4%	46.0%	47.0%	14.4%
経営・管理職	35.9%	33.8%	39.4%	11.5%
医師	46.0%	58.0%	47.0%	20.0%

2020年世界幸福度ランキングの上位10位に入る国の半分は、「ジェンダーギャップ指数」ランキングの上位10か国に入った国でした。ちなみに日本は62位。(涙)

ジェンダー平等が実現したその先にあるのは、性別に関わらず誰もが幸せを感じる国です。

毎年3月8日は「国際女性デー」です。



1975年、女性の権利と世界平和をめざす日として、国連によって定められました。女性たちが、平和と安全、開発における役割の拡大、組織やコミュニティにおける地位向上によってどこまでその可能性を広げてきたかを確認すると同時に、今後のさらなる前進に向けて話し合う機会として設けられた記念日です。

### ミライ on 図書館でパネル展示を開催

国際女性デーに関する展示を3月3日～14日まで開催。資料ほか書籍の紹介もしているので、是非ご覧ください。



ミモザは、国際女性デーの花として親しまれています。

### 書籍の紹介



世界で仕事をするということ  
〈グロ・ブルントラント著〉  
【元ノルウェー首相】



WHAT HAPPENED  
〈ヒラリー・クリントン著〉  
【元米国務長官】



信念は社会を変えた  
〈ルース・ベイダー・ギンズバーグ著〉  
【元米最高裁判事】

毎年3月1日から3月8日は「女性の健康週間」です。



女性は、妊娠・出産や女性特有の更年期疾患を経験する可能性があるなど、健康上の問題に直面することに留意する必要があります。「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」（性と生殖に関する健康と権利）の視点が重要です。女性が生涯を通して健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすためには、生活の場（家庭、地域、職域、学校）を通じて、女性の様々な健康問題を社会全体で支援することが必要です。

毎年3月10日は「農山漁村女性の日」です。



21世紀の農林水産業、農山漁村の発展に向け、女性が農林水産業の重要な担い手として、より一層能力を發揮していくことを促進するために設けられました。女性農業者が日々の生活や仕事、自然との関わりの中で培った知恵を企業の技術やアイデアなどに結び付け、商品やサービスなどにつなげる取組「農業女子プロジェクト」が動いています。

### 講座報告 「マインドフルネス講座」を開催しました。

2月21日（日）、講師に入江詩子さんをお迎えし、「マインドフルネス講座」を開催しました。33人の参加があり、ボディーワークを交えながら、瞑想やボディスキャン（身体洞察）を体験しました。

男女共同参画推進センター「ハートパル」

女性のための 相談室



0957-54-8715

秘密は守ります  
無料です

- ・ 電話相談 ・ 面接相談（できれば事前にお電話を）
- ・ 月曜～金曜 9時～17時

性暴力の悩み、SNSで相談してみませんか？

年齢・性別は問いません 匿名でOK

キュア タイム  
Cure time+



相談期間 2021/2/15(月)～3/31(水)  
受付日時 毎週 月・水・金・土 16時～21時

叩いたり罵ったり、あなたの身体を傷つけることだけが暴力ではありません  
あなたが望まない性的な行為はすべて性暴力です



☆当センターの講座・イベントに参加し右図の駐車場をご利用の場合は、無料駐車券を発行します。

【問合せ先】

大村市男女共同参画推進センター「ハートパル」  
〒856-0832

大村市本町 458 番地 2 プラットおおむら 4 階（旧浜屋ビル）  
TEL：0957-54-8715 FAX：0957-54-8700

Eメール：danjyo-s@city.omura.nagasaki.jp

【問合せ時間】 月～金 8時30分～17時30分（祝・年末年始休）

